

2025 年 7 月 1 3 日 聖霊降臨節第 6 主日礼拝次第
主日礼拝

前 奏 (黙 想)
招きの言葉 イザヤ書49章 3～4 節(旧約 1142 ㊟)
讃 美 歌 355(主をほめよ、わが心)
主の祈り <C>(讃美歌93-5)
詩 編 交 読 詩133編1～3節(交読詩編 151 ㊟)
聖 書 使徒言行録4章 32～37 節(新約 220 ㊟)
祈 禱
讃 美 歌 426(私たちを生かす)
説 教 「必要に応じて」 田中雅弘牧師
讃 美 歌 515(きみのたまものと)
信 仰 告 白 使徒信条(讃美歌93-4)
献 金
讃 美 歌 88(こころに愛を)
派 遣 祝 福
後 奏 (黙 想)
報 告 ※讃美歌は原則として全節を歌います

聖 書 使徒言行録4章 32～37 節
持ち物を共有する

32 信じた人々の群れは心も思いも一つにし、一人として持ち物を自分のものだという者はなく、すべてを共有していた。33 使徒たちは、大いなる力をもって主イエスの復活を証しし、皆、人々から非常に好意を持たれていた。34 信者の中には、一人も貧しい人がいなかった。土地や家を持っている人が皆、それを売っては代金を持ち寄り、35 使徒たちの足もとに置き、その金は必要に応じて、おののおのに分配されたからである。36 たとえば、レビ族の人で、使徒たちからバルナバ——「慰めの子」という意味——と呼ばれていた、キプロス島生まれのヨセフも、37 持っていた畑を売り、その代金を持って来て使徒たちの足もとに置いた。

主の祈り C(讃美歌21 93-5-C)

司式者) 天の父

- 一 同) わたしたちの父よ、
み名があがめられますように。
あなたの国が来ますように。
みこころが天と同じく地でも行われますように。
きょうのパンを きょうお与えください。
わたしたちの負い目をおゆるしてください。
わたしたちも負い目をゆるし合います。
わたしたちを誘惑におちいらせず、
かえって悪からお救いください。
国も力も栄えも、限りなくあなたのものです。アーメン

讃美歌355番

- 1 主をほめよ わが心、
主をほめよ 世の人よ。
そのみ業に 秘められた
強い力 深い知恵。
- 2 世のすべて とどまらず、
はてしなく かわりゆく。
主のことばに 従って、
海の中に 山移る。
- 3 造られた ものすべて、
世の人も 賛美せよ。
こずえ高く 鳴く鳥の、
歌よ響け 山越えて。
- 4 主をほめよ わが心、
そのみ名に ほまれあれ。
主のみわざの 偉大さを、
声のかぎり ほめうたえ。

讃美歌88番

心に愛を 豊かにみだし
日ごとのわざに つかわしたまえ

讃美歌426番

- 1 私たちを生かす
水と土と空気は
神さまの贈り物。
感謝します、心から。
- 2 豊かな生活を
支え続けた資源、
奪い、無駄にしできた
罪をゆるしてください。
- 3 完全な世界を
神さまは創られた。
しかし人は知らずに
その調和を破壊した。
- 4 あらゆるエネルギー
無限にあると思い
浪費し荒らした地を
新しくしてください。
- 5 地球という星は
未来の子どもの家。
いつまでも共に住む
道を示してください。

讃美歌515番

- 1 きみのたまものと 若いちからを
神のみ名のため すべて用いよ。
主イエスはさきだち すすみゆかれる、
ためらわずに行け、後につづいて。
(くりかえし)
きみのたまものと 若いちからを
主のわざのために すべてささげよ。
- 2 きみのたましいを すべてささげて
神に奉仕する 日々を求めよ。
ひとの世に神は み子をあたえた。
きみは神のため 何をささげる。
- 3 どんなよいわざも キリスト・イエスの
十字架の愛には くらべられない。
きみの罪とがを すべてゆるして
あがないのわざを 主はなしとげた。